

ふくおか & MAFF

2024.5
Vol.59

2024年5月22日発行

MAFFとは農林水産省の英語表記「Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries」の略称です。

Contents

- いしばし農園（筑紫野市）～おいしい野菜を届けたい！有機JAS認証継続の思い～
- みどり戦略学生チャレンジ募集中！
- 新任福岡県拠点地方参事官の紹介

いしばし農園（筑紫野市）～おいしい野菜を届けたい！

有機JAS認証継続の思い～

家業が農業の石橋利之さんは、約20年前に本格的に就農し、長年、農薬や化学肥料を使用せずに野菜の生産を続けてきました。その栽培の工夫や思いを伺いました。

一 栽培の工夫は？

就農当初、有機農業を行っていた父から技術を学びました。堆肥中心の土づくりに力を入れており、牛糞・野菜くず・籾殻・腐葉土等を原料とした**自家製堆肥を生産**しています。病虫害対策としては、適期栽培、土壌中の窒素成分をコントロールしたり、葉物野菜の栽培面積を減らすこと等で対応しています。商品の品質にもこだわっています。**味の決め手は、栄養素・ミネラル・酵母等、何をどのタイミングで効かせるか**であり、大変ですが、その試行錯誤を大切にしています。

一 有機JAS認証取得の効果は？

海外のオーガニック市場を見て、日本でも今後需要が増えると考え、就農初期に有機JAS認証を取得しました。現在、大手小売店と契約して納品しており、**有機JAS認証の取得が取引の信用度を高めている**と考えています。

／お話を伺いました／



代表 石橋利之 氏

いしばし農園

- ・経営面積：約4ha
- ・栽培品目：野菜約20種類（ニンジン・さつまいも等）
- ・スタッフ：パート4名
- ・販路：小売店、直売所等
- ・サイト：<http://www.ishibashi-yasai.com/>

一 課題は？

堆肥の原料や送料の価格高騰、人件費上昇の影響で、原料の見直しや遠方の契約先との取引が縮小となる等、経費増への対応が必要となっています。**有機農業の継続や拡大には、その意義について、消費者や調理する方々に理解を深めてもらうことが重要**と考えます。

品質にこだわる
当農園の野菜をぜひ皆さんに食べて欲しいです！有機農産物を販売する際の表示制度については、理解することが難しく、「オーガニック」「有機」という言葉が正しく浸透していない印象も受けます。生産者・消費者ともに簡単に理解できる分かりやすい表示の在り方が大切だと思います。



a.ほ場。レモングラスも栽培。b.ニンニク。c 販売商品。有機JASマークでPR。



みどり戦略学生チャレンジ募集中！！

「みどりの食料システム戦略」の実現に向けて、将来を担う若い世代の環境に配慮した取組を促すため、農業大学校や農業高校を含む大学生や高校生等の個人・グループが「みどりの食料システム戦略」に基づいた活動を実践する機会として「みどり戦略学生チャレンジ（全国版）」を開催します。参加宣言は5月31日まで。たくさんのご応募、お待ちしております！！

対象は？

①高校の部

（高等学校、高等専修学校、高等専門学校（3年生以下）の学生により構成されるグループ又は個人）

②大学・専門学校の部

（大学、短期大学、専門学校、高等専門学校（4年生以上）の学生により構成されるグループ又は個人）

- * 授業の一環、部活動、ゼミ・サークル活動等、参加形式は問わない。学校の垣根を超えたグループも可。
- * 農業高校、農業大学校等、農業に関係する教育機関に限らない。

内容は？

みどりの食料システム戦略に基づいた取組を実践

<具体例>

調達：生産段階でのプラスチック削減、堆肥の活用

生産：土壌分析やドローンを活用した化学肥料・化学農薬の低減、バイオ炭の農地土壌への投入技術

加工・流通：環境負荷を低減した農産物の市場拡大

消費：見た目重視の商品選択の見直し、食品ロス削減の仕組み作り

- ・取組概要を取りまとめたポスター・発表動画等を「学生チャレンジ」として各種イベント、YouTube配信等により紹介
- ・意見交換会等による参加チーム間の交流を予定

募集期間は？

参加宣言：令和6年1月～5月

取組実施：令和6年1月～10月

取組報告：令和6年10月

ポスター(A版縦長1枚)

* 全国大会出場者はポスター発表動画(4分以内)を追加提出

*** 優秀作品は表彰予定**

(最優秀の取組には農林水産大臣賞を授与)

詳細はこちら ▷ <https://www.maff.go.jp/i/kanbo/kankyo/seisaku/midori/challenge.html>



新任福岡県拠点地方参事官の紹介

4月から九州農政局の福岡県担当の地方参事官に着任いたしました小林 康弘（こばやし やすひろ）と申します。九州は二度目、福岡県は初めての勤務地となりますが、週末も県内各地をドライブするのが楽しみで、早く福岡の地に馴染んでいこうと思います。

食料・農業・農村基本法の改正の国会審議が進んでおり、農政の転換期と言われておりますが、福岡県拠点の果たす「農政と現場を結ぶ」という役割は変わりません。今後とも農業者や自治体等の皆様に寄り添える存在となれるよう職員一同努めてまいりますので、引き続きよろしくお願いたします。



【お問合せ先】

九州農政局福岡県拠点地方参事官室
〒812-0018 福岡県福岡市博多区住吉3-17-21 TEL 092-281-8261（代表）
<https://www.maff.go.jp/kyusyu/fukuoka/index.html>

